

報道関係者各位
あさがや能・狂言の会

【人間国宝・杉並名誉区民】狂言方大蔵流・山本東次郎が出演。阿佐谷薪能―都内有数の野外能楽堂の篝火のもとで体感する古典芸能

2026年5月9日(土)「第九回 阿佐谷薪能」開催

あさがや能・狂言の会は、2026年5月9日(土)、阿佐ヶ谷神明宮能楽殿(杉並区)にて「第九回 阿佐谷薪能」を開催します。開演は18:00(開場:17:30)。篝火が揺れる屋外の能楽殿で、狂言と能を上演し、夜の神域ならではの静けさと臨場感の中で、能・狂言に触れていただける機会をお届けします。

本年は【人間国宝・杉並区名誉区民】狂言方大蔵流・山本東次郎が特別出演。演目は狂言『素袍落(すおうおとし)』、能『自然居士(じねんこじ)』を予定しています。

見どころ・独自性

① 人間国宝・山本東次郎(狂言方大蔵流)が出演

室町時代より600年に渡り受け継がれてきた大蔵流の正統を継ぐ山本家四世。古典狂言の厳格な継承に加え、新作狂言の創作や普及活動にも尽力する日本を代表する狂言師が本公演に登場します。

② 都内でも限られる「境内常設の屋外能舞台」での薪能

阿佐ヶ谷神明宮の能楽殿(境内の常設舞台)を会場に、篝火のもとで能・狂言を上演します。都内で同様に“境内に能舞台(能楽殿／能楽堂)を備え”、薪能・野外能として継続開催が確認できる例は多くなく、鳩森八幡神社(渋谷区)の薪能、靖國神社(千代田区)の能楽堂公演の3社に限られます(当会調べ)。

③ 約20年、地域で守り育ててきた「子どもが能に触れる場」

地域の有志が中心となり、子どもたちに能楽の稽古と発表の機会を継続してきました。開始当初は阿佐谷青少年育成委員会の取組として運営され、故・龍前一榮氏の呼び掛けを契機に、2017年からは地元の町会・企業・神社・能楽師らによる「あさがや能・狂言の会」実行委員会が継承・継続しています。

稽古は地域の公共施設に加え、回によって杉並第一小学校等でも実施され、地域に根差した伝統芸能の継承と学びの場となっています。

- 【出演】小早川修(シテ方観世流／重要無形文化財保持者[総合認定])
能において物語の中心を担う「シテ」を務め、静かな所作の中に人物の感情や祈りを立ち上げる表現を持ち味とする。約20年にわたり阿佐谷の地で児童を対象とした能講座を継続的に実施し、伝統芸能を通じて地域文化の継承と教育の現場に深く関わってきました。
- 演目紹介: 狂言『素袍落』・能『自然居士』
狂言『素袍落』: 代参を託された太郎冠者が祝い酒で酔い、思わぬ騒動へ。
能『自然居士』: 身売りした少女を救うため、居士は人買いを追う。人買いは返す条件として様々な芸を居士にさせる。

公演に先立つ「事前講座」(4/18開催)

公演に先立ち、能・狂言の基本や当日の演目のあらすじを学び、公演をより面白く・身近に感じていただくための事前講座を開催。能舞台・装束・面の説明を受けたり、所作・運びを体験することができます。能楽師による仕舞も披露。

- 日時: 2026年4月18日(土) 14:00～15:30
- 会場: 阿佐ヶ谷神明宮 社務所2F
- 申込: 後日、公式サイトにてお知らせ

あさがや子ども能講座 発表会

能を通して子どもたちが日本の伝統文化にふれる機会をつくり、「豊かな心」を育てほしいという地域の有志の実行委員の想いにより、毎年無料子ども能講座を実施しています。秋から翌春にかけて能楽師の指導のもと稽古(謡・仕舞)を行い、その成果を「阿佐谷薪能」第一部で披露します。

チケット情報

- 販売開始: 2026年3月9日 正午より、公式ホームページ／阿佐ヶ谷神明宮 社務所にて開始
 - 料金(税込): 一般 4,000円／特別席 5,000円／小・中学生 1,000円
 - 返金: お客様都合による返金不可。ただし天候・社会情勢等による中止の場合は返金対応
-

開催概要

- イベント名: 第九回 阿佐谷薪能
 - 日時: 2026年5月9日(土) 17:30開場／18:00開演
 - 会場: 阿佐ヶ谷神明宮 能楽殿
〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1丁目25
 - 演目: 狂言『素袍落』／能『自然居士』
 - 主催: あさがや能・狂言の会
-

お問い合わせ

あさがや能・狂言の会事務局

Tel: 050-3528-5769

Mail: jimukyoku@asagaya-takiginoh.com

担当: 柴田(事務局長)・今川
